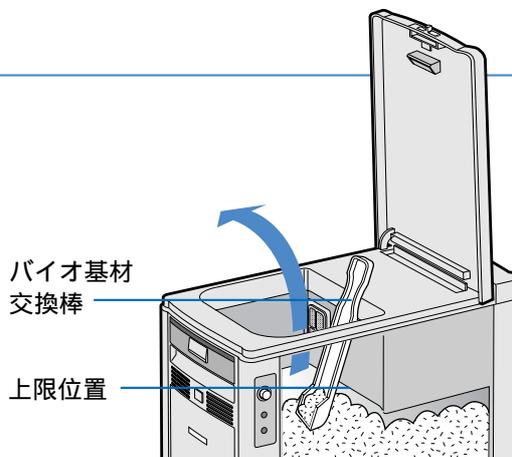


# バイオ基材のお手入れ

- 電源を「切」にし、**必ず電源プラグを抜く。**
- けがを防ぐため、**必ず手袋を使用する。**

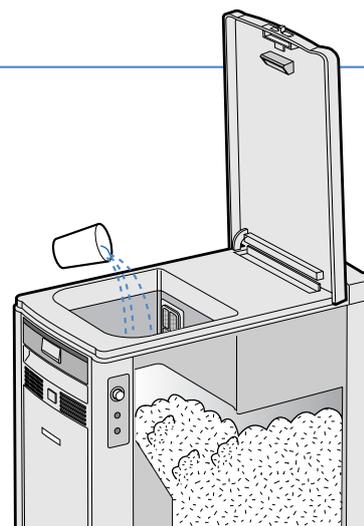
## バイオ基材量の調節

バイオ基材が「上限位置」を超えた場合は、付属の「バイオ基材交換棒」で取り出して捨ててください。  
(下記の「古いバイオ基材の処理のしかた」参照)



## バイオ基材の水分調節

毎日の生ごみ投入量が少ない場合や、数日間生ごみを投入しなかった場合、処理槽内のバイオ基材が乾燥しすぎて、微粉が舞う場合があります。  
バイオ基材がパサパサに乾燥すると、排気フィルターが目詰まりすることがあります。  
このときは、コップ1杯分(約200mL)の水道水を2~3回に分けて入れて、湿り気を与えてください。  
その際、200mL以上の水を入れしないでください。  
バイオ基材が粘土状になり、臭気が発生する原因になります。



# 古いバイオ基材の処理のしかた

## 廃棄のしかた

古いバイオ基材は、可燃ごみとして廃棄処分してください。

生ごみに塩分や油分が含まれているため、堆肥として使えません。

